

一般コミュニティ事業で地区の活性化に

平成26年度に自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として、滑津地区が採択され、コミュニティ助成事業で念願の除雪機を2台・地区行事の記録のためにビデオカメラ・プロジェクター等を購入しました。地区では様々な事業に取り組んでおり今後の活動がますます活性化するよう期待されます。



念願の除雪機



ビデオカメラ



マッサージ機



ミニ図書館をご存じですか

現在、開発センター1階のロビーを開放して、ミニ図書館を設置しております。最近購入した新刊から、宮城県図書館からいただいた本等、バラエティにとんだ本を用意しております。

本来、町の図書館は開発センター2階にありますが、なかなか利用につながらないことから、試験的に実施しておりますので、お気軽にご利用下さい。



健康一口メモ

公立刈田総合病院外科部長

Yorihiro Akamatsu 赤松 順寛

■肝臓の腫瘍について

「かんじんかなめ」と言う言葉も最近あまり聞かなくなりましたが、肝臓は大事な内臓です。しかし、沈黙の臓器と言われるように、そこに発生する病気が進行して来て初めて症状が出てくることが多いのです。健康診断でも肝臓の検査を行います。が、多少異常値でも症状がほとんどないのでつい放っておきがちになります。「いちいち気にしていたら好きなお酒も美味しくないし、脂肪肝になっているからといってどうすればいいの、全然元気だよ」と。



す。いわゆる生活習慣病の行き着く先としての肝臓がんもあり得るのです。肝臓の手術は、体に大きな負担をかけます。だつて、脂肪肝、慢性肝炎あるいは肝硬変と調子の悪くなった内臓を切るのですもの。まさに泣きつ面に蜂ですよね。でも小さいうちに見つかれば体に負担の少ない手術法やほかの治療方法もあります。医者にかかっても様子を見ましようと言われるかもしれないが、それは放っておきましようとは意味が違います。肝臓についてご心配なことがあればどうぞご相談ください。

まちの診療所

所長 氷室 真仁

■低温やけど

だいぶ寒くなり、雪が降りそうな心配がします。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

寒くなると、こたつに入ったり、電気毛布を使ったり、ホットカイロを使ったりして寒さをしのぐことが多いです。ここで一つ注意することは低温やけどです。

低温やけどは、携帯用カイロや湯たんぽでよく起きます。低温やけどは感覚の鈍いところで起きることが多く、高齢者の足など注意する必要があります。44度で6時間、50度で約3分間圧迫すると低温やけどになると言われています。

予防するにはカイロや湯たんぽを直接肌に触れさせない、同じ場所を暖め続けない、こたつや電気カーペットでは眠らないなど気をつけるというようです。

低温やけどにならないように、温熱用具の適切な使用に気を配り生活して下さい。

年末年始の次の期間は休診になります。

平成26年12月27日(土曜日)～平成27年1月4日(日曜日)



「感動の町民体育大会」

長老 佐藤 一男さん



九月二十八日に町民体育大会が開催されました。今年の体育大会は、参加された町民の方にとっても感動で生涯忘れられることのできるものだったのではないかと思います。長年の間、湯原小学校と関小学校の統合に関する問題がありました。小学校統合について長い歴史の中で多面的に議論された結果、二つの学校を統合し、新たに七ヶ宿小学校とすることに決まりました。そして今年の四月から子ども達は一つの校舎で一緒に学んでいます。

各地区の皆さんは、統合についての今までの心配事をまだお持ちかと思えます。しかし体育大会当日の子ども達の姿を見た時、私は感動せざるを得ませんでした。子ども達の明るくのびのびと、お互いに楽しく、思う存分に話し合っている姿を見て、とても感動いたしました。きっと会場にいる皆さんも子ども達の姿を見て、心から安心と喜びに耐えなかつたと思います。「私たち大人も七小生のように、日々お互いに信頼し協力し合えば、元気よくこの町で暮らしていかなければ」と勇気づけられました。誰もが大好きな町を皆で築きあげていきたいものです。明日の町をみつめて町民が皆で考え未来を開く想いが、町民の期待に繋がります。七ヶ宿町にいて良かった」と言える町づくりのために、皆で力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

今回は、関地区の渡部ひとみさんにリレ

